

症例報告

症例報告:3-4歳の子どものマイルストーンについて

3歳頃から子どもは幼児ではなくなり自我をもつようになってきます。他の子ども達との交流が増えグループを形成するようになります。社交性を学ぶ時期になってきますので、このタイミングでの必要な運動能力を詳しく解説します。ベテランの保護者の方々にも参考になる内容を目指しましたので、ぜひご活用ください。

全体的な動きについて

- 片足で跳ねたり立つことができるようになります。
- 一人で階を行き来することができるようになります。
- ボールを上から投げたり、足で蹴ったりできるようになります。
- バウンドしたボールを掴めるようになります。
- 迅速に前後に移動することができるようになります。
- 三輪車に乗れるようになります。

手指のスキル習得について

- 正方形・円の図形をコピーできるようになります。
- 人物の絵をかけるようになってきます。
- はさみを使用するようになってきます。

言語について

- 「同じ」や「違う」などを理解するようになってきます。
- 3文字程度の文章を話すようになってきます。
- 知らない人とも会話ができる単語を話すようになります。
- 物語を話すようになります。

認知について

- 隠された物を探すようになります。
- 手の届かないところにあるものを取ろうとします。
- 数字を話すようになります。

- 時間の認識をもつようになります。
- 過去の思い出を話すようになります。
- 想像力豊かな遊びをするようになります。

社会行動について

- 新しいものへの興味が増えていきます。
- 他の子どもと協力したり共有したりするようになります。
- より独創的な遊びをするようになります。
- 自分自身の服装を考えるようになります。
- 論争の解決をしようとしています。
- 自立して食事を取れるようになります。
- 自分自身でトイレができるようになります。

注意が必要な兆候

下記のような兆候が見られる場合は、小児科への相談を検討してください。

- 上から物を投げれない。
- ジャンプができない。
- 三輪車に乗れない
- クレヨン等を掴む動作ができない。
- 4つのブロックで遊ぶことができない。
- 親にしがみついて離れようとしない。
- 落書きが苦手
- 他の子どもを無視するようになる。
- 家族以外に反応しない。
- 睡眠やトイレ着替えを極端に拒む。
- 円を描けない。
- 3語を超える言葉で会話しない。
- 自分と他者を区別できない。

月齢に合った成長を確認する重要性

新米の保護者にとって、赤ちゃんの成長が適切かどうか判断するのは難しいものです。しかし、成長段階に応じた適切な刺激がなければ、神経の発達が遅れる可能性があります。その結果、将来的にADHDやASD、コミュニケーション障害などのリスクが高まることもあります。

反復が「起きる」「消失」するということは、身体の統合が起こり、次の運動を獲得する準備ができたことを意味します。運動を獲得する準備が整わないまま月齢が過ぎてしまうと、適切な発達が阻害される可能性があります。そのため、赤ちゃんの成長をしっかりと観察し、月齢に応じた発達が進んでいるか確認してあげることが大切です。

乳幼児期の成長は、大人になったときの健康や生活の質に大きな影響を与えます。そのため、赤ちゃんが月齢に応じたマイルストーンを達成しているかどうかを定期的を確認することが重要です。

赤堀鍼灸接骨院のアプローチ

赤堀鍼灸接骨院では、赤ちゃんの成長サポートだけでなく、家族全体の健康改善を目指した治療を提供しています。特に、自律神経の調整を通じて、健康的な身体づくりをサポートしています。

主なアプローチ

1. 個別の治療プラン 患者様一人ひとりのニーズに合わせたオーダーメイドの治療プランを提供。
2. 自律神経のバランス調整 赤ちゃんの成長に重要な神経系の調整を重視。
3. 継続的な経過観察 健康の維持には定期的なケアが不可欠です。

健康的な育児生活へのアドバイス

- 赤ちゃんの成長に必要な刺激を適切に与えましょう。
- 疑問や不安があれば、専門家に相談することをためらわないでください。
- 日常生活の中で、赤ちゃんとも目を合わせたり話しかけたりすることで、神経の発達を促します。

赤ちゃんの健やかな成長は、家族全体の幸せにもつながります。赤堀鍼灸接骨院では、専門知識と技術を活かし、赤ちゃんと保護者の皆様をサポートいたします。詳しいご相談は、お気軽にお問い合わせください。